

出雲市地域おこし協力隊員の活動状況について

1. 令和4年度 出雲市地域おこし協力隊員の活動状況

- (1) 隊 員 名 朝枝 尚子 (あさえだ しょうこ)
転 出 地 滋賀県
採用年月日 令和4年4月1日
活 動 地 域 平田地域伊野地区
活 動 内 容 地域の埋もれた資源を活用したアウトドアレジャーの場作りにチャレンジ。また、伊野地区自治協会や未来こい！ネットと共に、地域活動への参画と、自ら企画する「伊野ハーブ講習会」の開催に取り組む。
- (2) 隊 員 名 堀江 拓 (ほりえ たく)
転 出 地 京都府
採用年月日 令和4年4月1日
活 動 地 域 多伎地域
活 動 内 容 イチジク栽培に興味があり、定植用の苗木の準備や、一連の作業を習得中。会社員時代に培ったものづくりスキルを活用し、半農半Xに実現させることが目標。また、多伎イチジク業界の活性化を目指し、イチジクファンを増やす取組も行っている。
- (3) 隊 員 名 小島 稜加 (こじま はるか)
転 出 地 大阪府
採用年月日 令和4年10月1日
活 動 地 域 出雲南部地域乙立地区
活 動 内 容 サウナ好きで、サウナをきっかけに乙立の魅力を感じてもらえるようイベント活動を検討中。前職の看護師の経験も活かし地域の方の健康相談や、SNSを活用したPR活動にも取り組む。
- (4) 隊 員 名 鈴木 麻美 (すずき あさみ) (産業政策課所属)
転 出 地 東京都
採用年月日 令和4年10月1日
活 動 地 域 大社地域日御碕地区

活動内容 旧日御碕小学校をリノベーションした「日御碕サテライトオフィス」の管理とPR、入居企業等と連携した地域おこしを中心に活動する。広告代理店勤務の経験を活かし、東京で繋がりのある企業等も巻き込みながら、地域のPR活動や企業誘致に取り組む。

2. 任期終了後の隊員の動向

- (1) 隊員名 村岡 大吾郎 (佐田地域)
 山田 真嗣 (多伎地域)
 絵鳩 なぎさ (大社地域日御碕地区)
 田村 貴和子 (佐田地域)
 福島 沙織 (平田地域伊野地区)
 宮崎 司 (多伎地域)
 田島 菊美 (大社地域日御碕地区)

(2) 定住状況について

本市においては、平成28年度から、地域おこし協力隊員の配置を開始した。任期終了した7名の地域おこし協力隊員のうち、市内に定住した人は6名で、定住率(活動地と同一市町村内で定住)85.7%と全国の定住率53.1%と比較すると高い割合で定住に繋がっている。これは、活動期間中から定住に向けた活動へのサポートができた結果といえる。

定住者のうち、起業が2名、就職が3名、就農が1名となっており、それぞれの道を歩んでいる。

3. 地域おこし協力隊とは

(1) 制度概要

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。

隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図ります。

- (2) 活動期間 概ね1年以上3年以下
 (3) 財政支援 特別交付税措置(活動に要する経費など)
 (4) 地域おこし協力隊員数

全国	6,005名(1,085団体)	R3年度
島根県	171名(19市町村)	R3.6.1